



株式会社 IDDK

● 顕微観察技術メーカー

知識
製造業
宣言

顕微観察技術でポストISS時代の
宇宙バイオ実験プラットフォームを構築する

特徴

- ▶ レンズなしの可搬性に富んだ顕微観察装置を自社開発
- ▶ 宇宙輸送の基準を満たしており、2024年秋に打ち上げ予定
- ▶ 宇宙バイオ実験のプラットフォーム企業を目指す

解決したい課題、実現したい未来

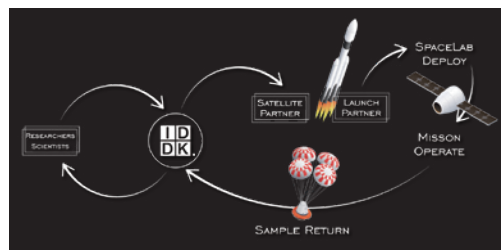
自社開発のマイクロイメージングデバイス技術を活かし、宇宙バイオ実験のプラットフォーム企業となります。新薬や新素材の開発、老化や病気の解明など、地上研究だけでは解決が難しい社会課題に対してイノベーションを生み出す場を提供すると共に、人類課題である「人類の宇宙進出」に貢献することを目指します。

注力したい領域

- エネルギー・環境・資源
- 健康・医療・生活
- 食料・農林水産
- 海洋・宇宙
- 情報通信
- モビリティ
- インフラ・住宅

製品・サービス、強み

現在、マイクロイメージングデバイス (MID) 技術を用いた地上向け製品として、Cellany、AminoMEといった小型で可搬性に優れた顕微観察装置を販売しています。また、MID技術を活用し、人工衛星の中でオートメーションバイオ実験ラボ (Micro Bio Space LAB) を構築する開発を行っています。2030年の国際宇宙ステーションの退役を見据えた宇宙バイオ実験プラットフォームの構築を、世界中の人工衛星メーカーとパートナーシップを組むことで進めています。



宇宙バイオ実験サービスの概要

コミュニケーター からひとこと



藤田大悟

レンズのない世界初の顕微観察装置をコア技術に、人工衛星を使って宇宙で簡単にバイオ実験ができるような新しい時代を作ろうとしています。次世代を巻き込んだ宇宙実験を計画中ですが、宇宙に限らず、広く実験で活用できそうな技術連携先を探しています。

■ 会社概要

代表者 上野宗一郎

創業/設立 2017年6月1日 / 2017年6月1日

資本金 161,582,000円

事業内容 マイクロイメージングデバイス (MID) をコア技術とする顕微観察装置の研究・開発・製造・販売

従業員数 9名

所在地 東京都江東区富岡1-12-8 アサヒビル309

その他 バイオコミュニティ関西 (BioCK) 宇宙バイオ実験分科会 代表機関
神戸にバイオラボを設置 (スタートアップ・クリエイティブラボに入居)

WEB <https://iddk.co.jp/>



上記企業との連携希望などのお問い合わせ先 ▶ kmc@lnest.jp (窓口：リバネス)